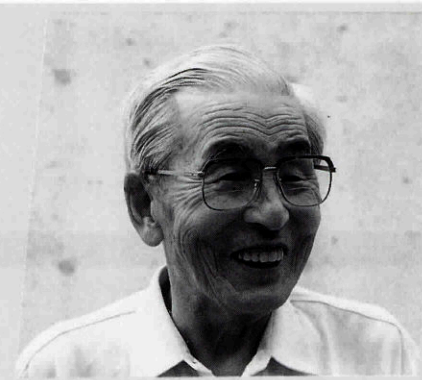


渡辺 順子 さん
3年 (鳥越2区)

「おつ、みんなやればできらあねえ！」
体育大会を終えた今でも、先生がおっしゃったこの言葉が、全身をしびれさせます。
そうです。今年の体育大会は今までよりうって変わって、輝かしく大変身をとげました。プログラムから企画・実践、そして、各種目演技図の冊子など、すべて自分達の手でつくり上げました。協力・責任・主体性をモットーに、夏休み中にも関わらず、毎日朝から晩まで頭をひねりにひねっていました。それ



「大津中に通学していた頃は、大泊への山道を走り、渡し船に乗りまた走って通っていました。だから今でも足は丈夫ですよ」と渡辺さん。

学校を卒業と同時に東京の自動車学校に入学、その後広島自動車隊に入隊。ちょうど原爆が落とされた時、市内の北にある自宅にいたという。「すぐ現地に行き、負傷者の救助にあたりました。爆心地から500mほどの所にテントを張って1週間位過ごしましたが、たまたまその場所だけが放射能が少なく、助かることができました」

広島から帰り、本格的に教員生活がスタート。71歳で教壇をおりるまで40年余りを教師として過ごした。69歳からワープロを始めたそうで、退職後西門寺の和尚さま



から、何といつても全校生徒でつくりあげた大パネル文字。みんな心が一つになった気がしました。
言えばきりがありませんが、この体育祭で本当に全校生徒、一回りも二回りも成長した気がします。これからも体育祭をきっかけに、全生徒一つになって『ガッツ』でがんばりぬこうと思っています。

ふるさとながと ③〇

こんにちは



安藤 かつえ さん
(東大阪市中鴻池町)

桜並木と海と

昭和24年板持1区で生まれる。
昭和45年武庫川女子短期大学卒業後、大阪府で教職、現在大阪府立茨田東小学校に勤務。

略歴

なんといつても一番思い出すのは小学校です。私が通学していたのは、青海島にある通小学校で、小高い山の上に建っていました。下から山頂までずっと桜の木が植えてあり、春になると満開の花びらの中を通学したものでした。今はその桜も切られたおされて車が通れる道路になったとか。とても残念でしたかありません。

その頃は給食もなく、毎日お昼になると家まで走って帰ったものでした。昼休みの短い時間にごはんを食べて遊ぼうというのですから大変です。山の上から下まで、そしてまた上へと、まるでマラソンランナーのように走り続けていました。これが毎日のことですから足腰が鍛えられるわけです。現在、病氣一つせず、元気でいられるのは、

この頃のおかげだと思つています。夏の水泳の時はプールがなく、下の浜までおりに泳いでいました。深い底までも見えるきれいな海。そういえば夏にはよくサザエやウニをとって、その場所で食べたものでした。(なんと贅沢な)目を閉じるとその頃の様子が鮮明にうかんできます。懐かしき良き思い出です。



通小学校坂道の桜